

LGBT  
City  
International  
Festival

多様な性を考える映画祭

2013.7.20(土)  
13:00~

12:30 開場 18:45 終了予定  
アウガ5Fカダール  
AV多機能ホール

〒030-0801 青森市新町1-3-7(JR青森駅前)

前売券販売所

■青森市/青森松竹アムゼ (☎017-731-1177)  
/サンロード青森 1F 総合サービスカウンター (☎  
017-722-8111)/成田本店しんまち店プレイガ  
イド(☎017-723-2431)

■弘前市/日弘楽器(☎0172-34-4821)

遠方の方には郵送いたします。詳しくはウェブサイト  
をご覧ください。お問い合わせください。

1日通し券 **¥2,000**

上映される3つのプログラム全てをご覧い  
ただけます。

1プログラム券 **¥1,000**

上映される3つのプログラムの中からひとつ  
お選びいただくチケットです。

1日通し券 ¥2,500  
1プログラム券 ¥1,200  
※学割チケット(通し券のみ) ¥1,500

チケットは全席自由席です。当日券は映画祭会場受  
付にて残席に応じて販売いたします。

※学割チケットは開催日当日に販売いたします。受  
付にて学生証をご提示ください。チケットのご予約  
は下記お問い合わせ先またはウェブサイトからお申  
し込みください。(学割チケットの前売りはいたし  
ませんので、ご注意ください。)

映画祭終了後懇親会開催

映画の感想などを語り合しましょう!

■会場/青森グランドホテル JR青森駅前  
使用するお部屋は当日ご案内いたします。

■参加費/¥2,500 ※食事・飲物込  
お申し込みはウェブサイトまたはお電話で

お問い合わせ

青森インターナショナルLGBT  
フィルムフェスティバル実行委員会  
☎090-6459-5136

※留守番電話の場合があります。メッセー  
ジを残していただければ、こちらからご連  
絡いたします。

✉info@aomori-lgbtff.org

※会場内、会場付近での写真撮影は固くお断  
りいたします。※上映中の入場はできません  
ので、予め開演時間等をご確認ください。(上  
映が始まりますと会場内が暗くなり、足元が  
危険です)※会場内での飲食はできませんの  
で、ご了承ください。ただし、アウガ5F会場  
前は、ベンチが設置されている館内公園とな  
っており、飲食可能です。※再入場の際は  
チケットの半券を係員へご提示ください。

主催/青森インターナショナルLGBT  
フィルムフェスティバル実行委員会  
協力/東京国際レズビアン&ゲイ映画祭  
@ f f あおもり映画祭実行委員会  
関西クイア映画祭  
デザイン/エイチピースタイルング

# The Eighth Aomori International LGBT Film Festival

第8回青森インターナショナルLGBTフィルムフェスティバル

夕立ちのみち

東北初上映



おばあちゃんカップルが、一生共に過ごすために決めたのは結婚  
すること。同姓婚が可能なカナダへの逃避行が始まる。

トラブル続きの旅の結末は?笑って泣けるロードムービー。

■原題: Cloudburst ■監督: トム・フィッツジェラルド  
■製作国: カナダ, USA ■製作年: 2011年 ■上映時間: 93分  
■言語: 英語(日本語字幕あり) ■字幕提供: 関西クイア映画祭

あしたの Pasta はアルデンテ

青森県内初上映



(c) Fandango2010

他人の望む人生なんて、つまらない! パスタ会社新社長となる長  
男の告白によって巻き起こる大騒動を発端に、家族の深い絆を  
ユーモアたっぷりに描く、笑って泣けるとびきりの感動作。本国イ  
タリアでは140万人を超える観客の熱い感動を誘い、主題歌も映  
画も大ヒットした話題作です。

■原題: Mine Vaganti ■監督: フェルザン・オルベテク  
■製作国: イタリア ■製作年: 2010年 ■上映時間: 113分  
■言語: イタリア語(日本語字幕あり)

百合子、ダスヴィダーニヤ

青森県内初上映



(c) 株式会社且々舎

これは友愛(フレンドシップ)か、恋愛(リーベ)か?

女性二人が、自分たちの関係について精魂傾けて討論し、お互い  
の愛を深めて行く。そんな熱い青春が、大正から昭和にかけて実  
在した。

■監督: 浜野佐知 ■製作国: 日本 ■製作年: 2011年  
■上映時間: 102分 ■言語: 日本語(英語字幕あり English Subtitles)

『多様な性にYes! IDAHOメッセージ展』を同時開催します

日時: 2013.7.20(土) 12:00~19:00  
会場: アウガ5F カダール AV多機能ホール前  
※どなたでも無料でご覧いただけます。  
共催: ス克蘭ブルエッグ

毎年5月17日のIDAHO(International Day Against Homophobia :  
国際反ホモフォビアの日)は、同性愛嫌悪や差別に反対する日として、世界中  
でイベントが開催されます。日本でも「多様な性にYes!」をテーマにメッセー  
ジを募集し街頭で読み上げるアクションや、講演会、展示会など、様々な催し  
が行われています。



昨年のメッセージ展より

青森では2009年より、県内のLGBTが中心となって活動するボランティアサークルであるス克蘭ブルエッグが、IDAHOに寄せら  
れたメッセージを展示紹介する取り組みをしており、2011年より当映画祭とのコラボレーション企画として「IDAHOメッセージ展」  
を映画祭会場前に開催しています。

今年も引き続き、このメッセージ展を映画祭会場前にて同時開催することとなりました。映画とメッセージを通して、多様な性をより  
身近に感じていただける一日になれば幸いです。

# The Eighth Aomori International LGBT Film Festival

## ① 夕立ちのみち

13:00~14:35



31年間連れ添った70代のレズビアン・カップル、ステラとドットィ。ほとんど目が見えないドットィが孫娘に老人介護施設に入れられそうになった時、二人は故郷を出て同性婚の可能なカナダへ行くことを決意する。一生共に過ごすための逃避行。

カナダへの途中、ヒッチハイクをしていた若いダンサーのプレントイスを拾う。彼は、死期が近い母親に会いに行くという。三人三様の葛藤や悩みを抱えながら、珍道中が始まる。果たしてふたりは結婚できるのか……。トラブル続きの旅の結末は？

■原題：Cloudburst ■監督：トム・フィッツジェラルド Thom Fitzgerald ■製作国：カナダ、USA  
■製作年：2011年 ■上映時間：93分 ■言語：英語（日本語字幕あり） ■字幕提供：関西クィア映画祭

## ② あしたの Pasta は アルデンテ

14:50~16:45



(c) Fandango2010

トンマーズはローマに住む作家志望の青年。実家は南イタリアのレッツェにある老舗のパスタ会社。兄アントニオが新社長就任となり、共同経営者一族の晩餐会が開かれる。帰郷したトンマーズはそこで家族に言えない3つの秘密を告白すべく、兄に予告する。ひとつ目は経営学部と偽って文学部を卒業したこと、ふたつ目は家業を継がずに小説家になること、そして最大の秘密は、ゲイであること。

ディナーの席でトンマーズが告白しようとした矢先、兄のアントニオが「僕はゲイです」と告白してしまう。一同は驚愕、父は憤怒のあまり、兄に勘当宣告してそのまま卒倒、家族は大騒ぎ。トンマーズは告白どころかローマにも戻れず、共同経営者の美しい娘アルバとパスタ工場を任される羽目に。果たして、トンマーズの未来は？老舗パスタ会社の将来は？そして、一家に再び平和な日々は訪れるのだろうか？

■原題：Mine Vaganti ■監督：フェルザン・オルペテク Ferzan Ozpetek ■製作国：イタリア ■製作年：2010年  
■上映時間：113分 ■言語：イタリア語（日本語字幕あり）

## ③ 百合子、ダスヴィダーニヤ

17:00~18:45



(c) 株式会社旦々舎

1924年（大正13年）ロシア語を勉強しながら、雑誌『愛国婦人』の編集をしていた湯浅芳子は、先輩作家・野上弥生子の紹介で、中條百合子と出会う。

百合子は17歳で「貧しき人々の群」を発表し、天才少女と騒がれた小説家。19歳の時に遊学中のニューヨークで、15歳年上の古代ベルシア語研究者の荒木茂と結婚するが、芳子と出会った5年後には二人の結婚生活は行き詰まっていた。お互いに惹かれあった芳子と百合子は、親しく付き合い始めるが、芳子は「私は、男が女に惚れるように、女に惚れる」と公言して憚らない女性だった。二人の情熱的な関係はリーベ（恋）かフレンドシップ（友情）か？

二人はディスカッションしながら関係を深めて行く。しかし、それは荒木にとって生活の根底を揺るがすものだった。20歳でアメリカに渡り、15年間にわたって苦学した荒木は、百合子と結婚することによって帰国し、大学教授の職も得ることができた。芳子に百合子を奪われることは、なんとしても避けなければならない。百合子、芳子、荒木の3人は、東京と、百合子の祖母が住む福島県の安積・開成山（現・郡山市）の間を往復しながら、異性愛と同性愛が交錯する愛憎のドラマを繰り広げる。

■監督：浜野佐知 ■製作国：日本 ■製作年：2011年 ■上映時間：102分  
■言語：日本語（英語字幕あり English Subtitles）

## 「百合子、ダスヴィダーニヤ」監督 浜野佐知さんよりメッセージをいただきました。

映画「百合子、ダスヴィダーニヤ」は、大正から昭和という時代に「男が女を愛するように、女を愛する」と公言して生きたロシア文学者・湯浅芳子（1896~1990）と、天才少女作家としてデビューし、戦後はプロレタリア文学の旗手として活躍した中條（宮本）百合子（1899~1951）の真実の愛の物語です。

私は15年ほど前、原作となったノンフィクション「百合子、ダスヴィダーニヤ」（沢部ひとみ著・学陽書房）に出会い、そこに描かれていた芳子と百合子の鮮烈な生き方に魂を揺さぶられるような想いで、この女性同士の「新しい愛の実験」を映画にしようと決意しました。

100年前の日本で、作家として女がたどり着けなかった高みにまで昇りつめようとした百合子。「レズビアン」という言葉もない時代に、「男×女」という社会が押し付ける愛の在り方を拒否し、自らのセクシュアリティに正直に生きた芳子。

7年間を愛し合い、高め合って暮らした後に、芳子を裏切り、宮本顕治（1908~2007）の元に行った百合子を、「私は何人にも言わぬ。胸ひとつにおさめて黙る。しかしこのことは百年ののちに明らかにされていいことだ」と書き遺した芳子の愛の真実を今こそ甦えさせたい、と願ったのです。

「寂しくはない、孤独だけれど、寂しくはない。同じ魂の人間もいるし。」

孤独と引き換えに魂の自由を選び取って生きた芳子の潔さを、青森インターナショナルLGBTフィルムフェスティバルで皆さまに観ただけのことを心からうれしく思っています。

